

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

組織の中にプロフィットセンターはない (P. F. ドラッカー)

1. およそ企業の内部には、プロフィットセンターはない。内部にあるのはコストセンターである。技術、販売、生産、経理のいずれも、活動があってコストを発生させることは確実である。しかし、成果に貢献するかはわからない。
2. じつは、プロフィットセンターという言葉をつくったのがドラッカーである。あらゆる活動を事業として把握することの必要を強調するためだった。ところが、言葉は独り歩きをする。プロフィットの源泉が組織の中にあるかのごとき錯覚を持たせてしまった。こうしてドラッカーは、後年、「こんな言葉を作ってしまったて申し訳ない」と言わなければならない羽目になった。
3. 組織の中には、プロフィットを生むプロフィットセンターなどはない。それは組織の外、顧客のところにある。組織の中にあるのは、コストを発生させるコストセンターである。あらゆる企業活動がまずコストを発生させる。プロフィットが発生するのは、顧客が代金を払ってくれたときである。
4. 成果は、内部にいる者や、企業の支配化にある者によって決まるのではない。企業の活動が、成果を生むか無駄に終わるかを決定するのは、企業の外部にいる者である。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2007年6月2日号)

経営者のための営業学

「そうじ」には組織を変える力がある

1. 大阪市生野区の町工場が軒を並べる一角に、枚岡合金工具はある。お世辞にも立派とはいえない外観だが、工場内の床は顔が映るほどぴかぴかに磨かれ、工具は整然と並べられている。社員たちの表情は明るく、どことなく楽しそう。同社は、社員数 13 人の金型メーカー。ボルトや精密部品用の金型を主力とし、同業者が業績を悪化中、果敢に生き残ってきた。「我が社も 10 年前までは業績悪化に苦しんでいた。窮地を救ってくれたのは、紛れもなく『そうじの力』だった」と古芝保治社長は断言する。
2. 「そうじの力」に会社の再生を託した古芝社長は自らも「そこまでやるか」と人に言わせるほど、整理、整頓、清掃活動に没頭した。ぞうきんを手に取り、懸命に床を磨く社長の姿を見て、一人また一人と社員がその輪に加わった。「我が社はそうじによって業績が回復しただけでなく、社員の表情も明るくなり、言葉遣いや身だしなみ、風通しも良くなった。そうじには、一般的に思われている以上に、組織を抜本的に変える大きな力があると思う」と語る。

(参考:「日経ベンチャー」: 2007年5月号)

心・健康・環境について

うつぶせ寝の効用

1. 腹臥位療法という、うつぶせ寝を提唱する健康法がある。背骨のまわりの太い血管が圧迫されにくいので血流がよくなる、仰向けに比べて気道が確保されるのでいびきが軽減される、酸素を多く取り込みやすい、たんが排出されやすいなどのメリットがある。実践者からは、便秘の解消や、肩こりが楽になったといった報告も多いという。脊椎せきつい動物である人間は、イヌやネコと同様にうつぶせに寝たほうが自然で、理にかなっているそう。
2. 1日に30分、うつぶせの姿勢をとるだけで、頭がすっきりするなどの効果があるそう。95歳の現役医師である聖路加国際病院名誉院長・日野原重明氏も10年ほど前からうつぶせ寝を習慣にしているという。

(参考:「野村週報」2007年7月16日号)

古典に学ぶ

とりこし苦勞の戒め

「人情、事變、或いは深看を做して之を処すればかえって失当の者有り。大低輕看して区処すれば肯察に中たる者少からず」

(訳) 人間社会で起きるもめごとや事變を余り深く考えて処理しようとするや却って失敗することがある。大抵は軽く考えて処理すると核心をついていることが多い。

(参考:佐藤一斎「言志四録」): PHP文庫